

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年5月27日記入

基本目標	I ▼ 学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	14230
政策名 (章)	第4章 人間性豊かな子どもを育成します	評価担当課	学校教育部 ▼
基本施策名 (節名)	第2節 青少年の健全育成		青少年相談センター
施策名	青少年相談と非行防止活動の推進	課長名	山田 理以

1 施策の概要・目的

- 青少年が抱える様々な課題に対し、適切で効果的な相談活動が展開できるよう、青少年相談体制の充実を図ります。
- 青少年の非行を防止するため、家庭をはじめ地域社会全体の課題として非行防止活動の推進に努めます。

2 施策の現状

増加傾向にある青少年の問題行動・非行化に対し、家庭や地域の教育力を高めるため、学校と地域の青少年相談員との連携を強化し、青少年に対して地域での「声かけ」を主とした指導・相談活動を行っている。
また、街頭指導の相談員による重点地区での指導・相談活動を行っている。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

18,372 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

30 円/人……人口は、61.6 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 108 番目です。

(4) 施策に要している人員

5.01 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	要声掛け少年率 街頭指導件数/(6~19歳)青少年 人口	地域教育力の向上 による要指導少年 の減少	2 % 単位	0 50 100	17	目標年度
			2.3 % 単位		87%	達成度
指標2			単位	0 50 100		目標年度
			単位		%	達成度
指標3			単位	0 50 100		目標年度
			単位		%	達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

青少年の誰もが健全に育つことは、社会の願いであり、義務であるが、青少年の問題行動は年々増加し、特に不良少年の粗暴行為や深夜徘徊が増加している状況がある。
また、青少年の規範意識の希薄さが目立ち、地域や家庭での教育力が低下している。

6 有効性…期待される効果があがっているか

地域での活動や、街頭指導相談員の声かけにより、問題行動をおこす青少年も、社会や地域から疎外されることなく、愛情を持って関わってくれる大人の存在を認識し、心を開き、社会意識や規範意識を受け入れる始まりとなっている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

地域に密着した青少年相談員を委嘱することにより、効果的な活用が図られている。
また、街頭指導の相談員は、少年問題や学校関係の専門家に委嘱しており、適任と考えられる。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

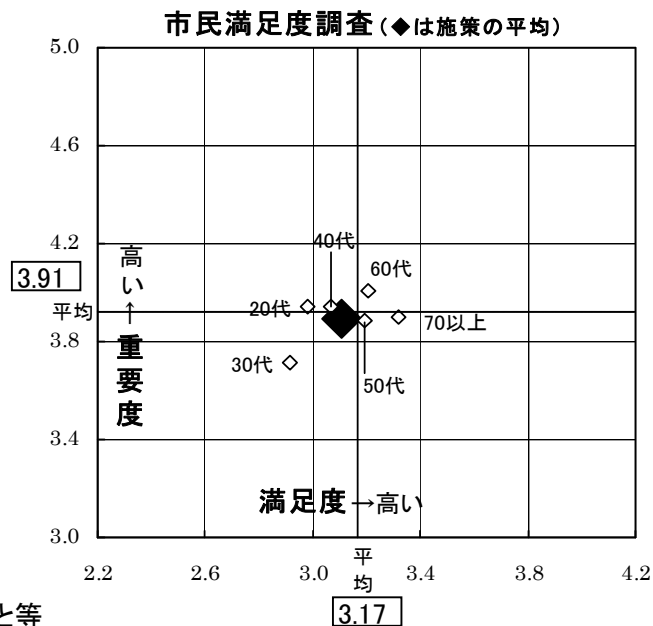
◆この施策の満足度は、3.107で、調査した51施策の中で36番目です。

◆この施策の重要度は、3.891で、調査した51施策の中で25番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.554で、調査した51施策の中で23番目です。

◇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、30歳代で最も低くなっています。重要度は60歳代で最も高く、30歳代で最も低くなっています。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

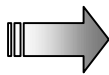


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

青少年に対する相談活動や非行防止活動は、家族や地域社会の協力が不可欠で、地域コミュニティの形成が前提となるが、昨今の社会は、不干涉、個人主義的無関心の地域社会が増えてきている。
地域に根ざした青少年相談員の活動が、地域で青少年を育み、非行を追放する力となるためには、学校や地域との連携をより一層強化し、地域社会の教育力を高めてゆく必要がある。
また、一時的な「声かけ」から、継続的な相談や支援ができる相互関係を築いてゆくことが今後の課題となっている。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

民生委員と保護司及びBBS会員で組織する青少年相談員協議会の地区協議会の活動を一層強化し、地域での活動を発展させ、青少年や保護者の支援・相談者として、家庭や学校に入った活動を強化する。

11 2次評価

説明
<input checked="" type="checkbox"/> A
<input type="checkbox"/> B
<input type="checkbox"/> C

青少年犯罪の凶悪化、低年齢化、また、不登校生徒・児童の増加、就職率の低下など青少年を取り巻く環境は決して健全ではないことから、相談体制の強化など更なる施策の充実を図ること。

12 外部意見

説明
青少年問題が社会現象としてとりだされている昨今、児童福祉部門との連携を取りながら、効果的な事業・施策の実施等を図るべきである。

施策名 青少年相談と非行防止活動の推進

施策コード 14230

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要									施策中の優先順位
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性	今後の進め方	
青少年相談員経費	青少年相談センター	15	9,618	1.00	A	B	A	A			A	A	継続	1
青少年街頭指導・相談事業	青少年相談センター	14	8,648	4.00	AA	B	A	A	A	B	A		継続	2
青少年相談センター運営協議会	青少年相談センター	14	106	0.01	A	C	A	A	A	B	A		継続	3

合計 3 事務事業 18,372 5.01 千円 人
 平成14年度評価：達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
 平成15年度評価：達成度、必要性、効率性、有効性、公平性